

北海道厚生局長 殿

北海道大学病院長 福田 諭 (印)

北海道大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 23 年度の業務
に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	86.5 人
--------	--------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非 常 勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	253 人	286 人	476.9人	看護補助者	112 人	診療エックス線技師	0 人
歯科医師	103 人	46 人	139.8人	理学療法士	12 人	臨床検査技師	74 人
薬 剤 師	38 人	0 人	38.0人	作業療法士	8 人	衛生検査技師	0 人
保 健 師	0 人	0 人	0.0人	視能訓練士	10 人	その他	0 人
助 産 師	22 人	0 人	22.0人	義肢装具士	0 人	あん摩マッサージ指圧師	0 人
看 護 師	803 人	27 人	823.9人	臨床工学技士	16 人	医療社会事業従事者	18 人
准 看 護 師	0 人	0 人	0.0人	栄 養 士	0 人	その他の技術員	5 人
歯科衛生士	12 人	0 人	12.0人	歯 科 技 工 士	6 人	事 務 職 員	250 人
管理栄養士	7 人	0 人	7.0人	診療放射線技師	51 人	その他の職員	84 人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	793.99人	22.38人	816.37人
1日当たり平均外来患者数	2409.12人	753.26人	3162.39人
1日当たり平均調剤数		1145.99 剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
超音波骨折治療法(医科)	0人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	1人
先天性難聴の遺伝子診断	1人
内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	15人
最小侵襲椎体椎間板搔爬洗浄術	3人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	0人
パクリタキセル静脈内投与、カルボプラチン静脈内投与及びペバシズマブ静脈内投与の併用療法(これらを三週間に一回投与するものに限る。)並びにペバシズマブ静脈内投与(三週間に一回投与するものに限る。)による維持療法、再発卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん	1人
神経症状を呈する脳放射線壊死に対する核医学診断及びペバシズマブ静脈内投与療法	4人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示
第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。
(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ペーチェット病	232人	・膿疱性乾癬	10人
・多発性硬化症	101人	・広範脊柱管狭窄症	4人
・重症筋無力症	81人	・原発性胆汁性肝硬変	76人
・全身性エリテマトーデス	425人	・重症急性膵炎	2人
・スモン	2人	・特発性大腿骨頭壊死症	108人
・再生不良性貧血	57人	・混合性結合組織病	39人
・サルコイドーシス	286人	・原発性免疫不全症候群	35人
・筋萎縮性側索硬化症	22人	・特発性間質性肺炎	18人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	213人	・網膜色素変性症	38人
・特発性血小板減少性紫斑病	107人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	61人	・肺動脈性肺高血圧症	22人
・潰瘍性大腸炎	133人	・神経線維腫症	43人
・大動脈炎症候群	53人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	18人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・天疱瘡	47人	・慢性血栓栓性肺高血圧症	11人
・脊髄小脳変性症	145人	・ライソゾーム病	3人
・クローン病	76人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	15人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	11人	・脊髄性筋萎縮症	5人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	261人	・球脊髄性筋萎縮症	7人
・アミロイドーシス	10人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	14人
・後縦靭帯骨化症	117人	・肥大型心筋症	62人
・ハンチントン病	0人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	159人	・ミトコンドリア病	8人
・ウェグナー肉芽腫症	16人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	6人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	79人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	36人	・黄色靭帯骨化症	1人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	12人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	341人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く)に係るものに限る)	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	約44回/月
部 検 の 状 況	部検症例数 32例 / 部検率 6.94%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
難治性喘息に対する創薬への挑戦—新規NF-KB阻害薬(DHMEQ)の可能性—	西村 正治	第一内科	500,000	補 委 日本学術振興会
大規模コホート研究による難治性気道疾患の病態解明と個別化治療への展開	西村 正治	第一内科	2,600,000	補 委 日本学術振興会
気管支喘息、COPDの病態における組織因子(TF)、第7因子(F7)の関与	今野 哲	第一内科	2,100,000	補 委 日本学術振興会
気管支鏡検体を用いたmicroRNAによる非小細胞肺癌の組織型診断	品川 尚文	第一内科	1,200,000	補 委 日本学術振興会
ガンマセクレターゼインヒビターと放射線併用による治療効果の検討	榊原 純	第一内科	1,500,000	補 委 日本学術振興会
心電図異常を伴うサルコイドーシス症例の前向き研究	大平 洋	第一内科	2,500,000	補 委 日本学術振興会
慢性炎症性肺疾患におけるCCL18の機能的役割と意義	服部 健史	第一内科	1,700,000	補 委 日本学術振興会
アレルギー疾患の全国全年齢有症率および治療ガイドライン普及効果等疫学調査に基づく発症要因・医療体制評価に関する研究	西村 正治	第一内科	1,000,000	補 委 厚生労働省
呼吸不全に関する調査研究	西村 正治	第一内科	1,000,000	補 委 厚生労働省
びまん性肺疾患に関する調査研究	西村 正治	第一内科	1,000,000	補 委 厚生労働省

小計 10

バイオマーカーに基づいた肺癌個別化治療における分子標的治療薬の至適治療法を検証するランダム化第Ⅲ相比較試験	大泉 聡史	第一内科	500,000	補 委	厚生労働省
肺胞蛋白症の難治化要因の解明と診断、治療、管理の標準化と指針の確立に関する研究	南須原 康行	第一内科	200,000	補 委	厚生労働省
特発性肺線維症急性増悪及び薬剤性肺障害に関与する日本人特異的遺伝素因に関する研究	今野 哲	第一内科	500,000	補 委	厚生労働省
抗リン脂質抗体症候群の発症メカニズムの分子病態論的解析	小池 隆夫	第二内科	3,450,000	補 委	日本学術振興会
関節リウマチの関節破壊ゼロを目指す治療指針の確立、及び根治・修復療法の開発に関する研究	小池 隆夫	第二内科	3,000,000	補 委	厚生労働省
関節リウマチに対する生物学的製剤の作用機序、投与方法、治療効果等に関する研究	小池 隆夫	第二内科	2,000,000	補 委	厚生労働省
我が国における関節リウマチ治療の標準化に関する多層的な研究	小池 隆夫	第二内科	2,000,000	補 委	厚生労働省
抗リン脂質抗体症候群の発症メカニズムの分子病態論的解析	渥美 達也	第二内科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
抗プロトンピン自己抗体の病原性の分子生物学的検討	渥美 達也	第二内科	1,250,000	補 委	日本学術振興会
自己免疫疾患に関する調査研究	渥美 達也	第二内科	2,600,000	補 委	厚生労働省
不育症における抗リン脂質抗体標準化に関する研究	渥美 達也	第二内科	1,000,000	補 委	厚生労働省
リコンビナントニックβ2グリコプロテインドメインVを用いた血栓症治療の可能性	保田 晋助	第二内科	1,900,000	補 委	日本学術振興会

抗リン脂質抗体症候群と全身性エリテマトーデスの疾患感受性遺伝子に関する研究	堀田 哲也	第二内科	1,500,000	補 委	日本学術振興会
動脈硬化粥腫形成におけるマクロファージ内脂肪貯留機構の解明	三好 秀明	第二内科	1,420,000	補 委	日本学術振興会
Sec63コンディショナルノックアウトマウスによる囊胞形成機序の解析	西尾 妙織	第二内科	1,820,000	補 委	日本学術振興会
H. pylori除菌による胃癌予防における経済効果の研究	加藤元嗣	光学医療診療部	12,000	補 委	厚生労働省
心血管ストレス応答におけるミトコンドリア活性酸素シグナル制御	筒井裕之	循環器内科	21,320,000	補 委	文部科学省
脂質代謝改善作用をもつ機能性素材開発	筒井裕之	循環器内科	1,981,819	補 委	文部科学省
心筋リモデリングにおけるミトコンドリア転写因子制御の分子機構の解明と治療への応用	筒井裕之	循環器内科	5,330,000	補 委	日本学術振興会
特発性心筋症に関する調査研究	筒井裕之	循環器内科	1,000,000	補 委	厚生労働省
高齢者における心不全在宅医療に関する研究	筒井裕之	循環器内科	2,000,000	補 委	厚生労働省
マルチスライスCTによるハイリスク冠動脈疾患患者の早期診断及び予防治療戦略の構築	後藤大祐	循環器内科	1,170,000	補 委	日本学術振興会
心臓再同期療法における酢酸、水PETを用いた心筋局所酸素代謝、心筋血流の評価	千葉知	循環器内科	650,000	補 委	日本学術振興会
PAI-1の冠動脈微小血管保護作用の解明と心筋梗塞の新規治療への応用	金子壮朗	循環器内科	910,000	補 委	日本学術振興会

高血圧性心房電氣的リモデリングに対する伸展活性化チャネル阻害による心房細動治療	横式尚司	循環器内科	1,170,000	補委	日本学術振興会
慢性心不全患者に対するASV療法の心臓交感神経活性に対する効果の解析	榊原守	循環器内科	1,950,000	補委	日本学術振興会
ナチュラルキラーT細胞による動脈硬化における慢性炎症遷延化の分子基盤の解明	石森直樹	循環器内科	2,600,000	補委	日本学術振興会
肺癌におけるフコシル化糖鎖合成系の異常とバイオマーカー開発に関する研究	秋田弘俊	腫瘍内科	1,100,000	補委	日本学術振興会
核内転写因子cJun阻害を利用した非小細胞肺癌の癌幹細胞を標的にした治療法の検討	木下一郎	腫瘍内科	1,500,000	補委	日本学術振興会
肺癌個別化治療における分子標的治療薬の至適治療法を検証する第Ⅲ相比較試験	木下一郎	腫瘍内科	500,000	補委	厚生労働省
シリカとベンツピレンの発癌微小環境因子を介したヒト気管支上皮細胞への影響	秋田弘俊	腫瘍内科	2,000,000	補委	公益財団法人 喫煙科学研究財団
ゲノム情報に基づく肝移植C型肝炎再発に対する革新的治療戦略の構築	武富紹信	第一外科	5,400,000	補委	日本学術振興会
肝臓移植における重水を主体とした新規臓器保存液の開発	藤堂 省	第一外科	13,600,000	補委	日本学術振興会
臓器ストレス測定法の開発と外科領域への応用	藤堂 省	第一外科	800,000	補委	日本学術振興会
肝細胞癌再発・転移成立における遊離癌細胞と宿主側因子との相互関係の検討	神山 俊哉	第一外科	600,000	補委	日本学術振興会
新規NF-κB活性阻害剤(DHMEQ)を用いた炎症性腸疾患の新しい治療法	鈴木友己	第一外科	1,000,000	補委	日本学術振興会

大腸癌微小転移における癌幹細胞の役割	崎浜秀康	第一外科	1,300,000	補委	日本学術振興会
分子標的薬による新たな膵島移植法の開発:重症糖尿病の克服に向けた新戦略	山下 健一郎	第一外科	6,400,000	補委	日本学術振興会
肝細胞癌悪性度バイオマーカー候補E-FABPの発現、機能解析	横尾 英樹	第一外科	1,700,000	補委	日本学術振興会
新規分泌型発光デュアルプローブを用いたin vivoでの癌細胞上皮間葉移行解析	片岡 昭彦	第一外科	1,500,000	補委	日本学術振興会
マウス肝移植における抗体プローブイメージング法を用いた拒絶反応の診断と病態解析	細田 充主	第一外科	1,600,000	補委	日本学術振興会
悪性腫瘍間質細胞による前転移ニッシュ形成と転移促進のメカニズムの解明	樋田泰浩	第二外科	1,040,000	補委	日本学術振興会
腱・靭帯繊維芽細胞に対する3次元培養環境下におけるメカニカルストレスの効果	眞島 任史	整形外科	900,000	補委	日本学術振興会
関節軟骨・軟骨下骨を同時に再生可能なインテリジェントマテリアルの開発	笠原 靖彦	整形外科	1,600,000	補委	日本学術振興会
四肢形成、軟骨形成におけるBtb7の機能解析	小野寺 智洋	整形外科	1,600,000	補委	日本学術振興会
関節リウマチの骨/軟骨破壊におけるSyndecan4の関与	高橋 大介	整形外科	1,500,000	補委	日本学術振興会
股関節疾患における関節温存手術の術前シミュレーションプログラムの開発	高橋 大介	整形外科	350,000	補委	ノーステック財団
糖鎖生物学的アプローチによる骨吸収制御機構の解明	岩崎 倫政	整形外科	780,000	補委	日本学術振興会

高純度硬化性ゲルを用いた無細胞移植軟骨再生治療法の開発	岩崎 倫政	整形外科	5,200,000	補 委	日本学術振興会
難治性神経因性疼痛の基礎疾患の解明と診断・治療精度を向上させるための研究	岩崎 倫政	整形外科	900,000	補 委	厚生労働省
グライコミクスによる変形性関節症の早期診断に有効な血清糖鎖マーカー探索	西田 欽也	整形外科	1,400,000	補 委	日本学術振興会
同種肢・関節移植における遺伝子導入療法への応用	本宮 真	整形外科	5,200,000	補 委	日本学術振興会
骨粗鬆症性脆弱性脊椎骨折に対する骨代謝改善薬の適性使用に関する研究	鏡邦芳	整形外科	910,000	補 委	日本学術振興会
組織誘導性再生法を応用した難治性脊椎感染症に対する新しい治療法の開発	伊東学	整形外科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
生体力学的環境変化により生じる椎間板細胞・組織の変性制御に関する統合的研究	須藤英毅	整形外科	2,210,000	補 委	日本学術振興会
病的骨破壊におけるシアル酸受容体シグレックを介した破骨細胞活性化制御機構の解明	高畑雅彦	整形外科	1,560,000	補 委	日本学術振興会
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	鏡邦芳	整形外科	500,000	補 委	厚生労働省
脊柱変形由来の胸郭不全症候群の事態調査とその診断・治療方針の検討	伊東学	整形外科	300,000	補 委	厚生労働省
特発性側弯症の遺伝子解析に関する研究	伊東学	整形外科	500,000	補 委	日本整形外科学会
生体力学的環境変化により生じる椎間板細胞・組織の変性制御に関する統合的研究	須藤英毅	整形外科	3,000,000	補 委	武田科学振興財団

生体力学的環境変化により生じる椎間板細胞・組織の変性制御に関する統合的研究	須藤英毅	整形外科	1,000,000	補委	鈴木謙三記念医科学応用研究財団
尿道下裂・停留精巣の診断・追跡、症例対照研究	野々村克也	泌尿器科	60,000,000	補委	厚生労働省
外科的長期予後データの収集と解析	野々村克也	泌尿器科	1,500,000	補委	厚生労働省
腎臓副腎腫瘍の治療調査と指針作成	篠原信雄	泌尿器科	500,000	補委	厚生労働省
高悪性度筋層非浸潤癌に対する経尿道的膀胱腫瘍切除後の治療方針の確立に関する研究	篠原信雄	泌尿器科	150,000	補委	厚生労働省
NFκBレポーターシステムによる間質性膀胱炎の新たな診断方法の確立	田中 博	泌尿器科	700,000	補委	日本学術振興会
思春期を迎えた尿道下裂症例の排尿動態、内分泌環境に関する研究	守屋仁彦	泌尿器科	800,000	補委	日本学術振興会
末梢循環腫瘍血管内皮細胞を用いた転移性腎癌患者の診断・治療バイオマーカーの探索	篠原信雄	泌尿器科	2,600,000	補委	日本学術振興会
間質性膀胱炎モデルにおける膀胱イメージング	三井貴彦	泌尿器科	2,200,000	補委	日本学術振興会
ダイオキシン類介在性アンドロゲン受容体分解による治療抵抗性前立腺癌の治療法開発	丸山 覚	泌尿器科	2,600,000	補委	日本学術振興会
Seed and Soil理論に着目した尿路上皮癌所属リンパ節の新規病理診断	安部崇重	泌尿器科	1,000,000	補委	日本学術振興会
前部帯状回の排尿コントロールにおける役割の検討	橘田岳也	泌尿器科	1,600,000	補委	日本学術振興会

運動神経信号付加は本当に起こっているのか?～顔面表情筋 mRNA発現変化を捉える～	山本有平	形成外科	4,200,000	補委	日本学術振興会
光イメージングによる癌転移機構解明-メラノーマがリンパから血流に入る瞬間を捉える	古川洋志	形成外科	4,100,000	補委	日本学術振興会
ケロイド線維芽細胞の起源を探る-ケモカインに誘導される fibrocyte-	舟山恵美	形成外科	1,100,000	補委	日本学術振興会
メラノーマ治療成績向上を目指して～ヒアルロン酸修飾インターフェロンβ徐放剤の開発	齋藤亮	形成外科	5,000,000	補委	日本学術振興会
ケロイド治療への新たな視点～皮膚に対する抗線維化薬の応用～	林利彦	形成外科	1,500,000	補委	日本学術振興会
唇顎口蓋裂治療における再生医学～機能性 Scaffold を応用した顎裂再建	小山明彦	形成外科	1,200,000	補委	日本学術振興会
TGF-β の拮抗因子としての HGF ～ケロイド治療の新たな可能性を探る～	山本有平	形成外科	1,500,000	補委	日本学術振興会
多機能ゲルが誘導する軟骨自然再生における間葉系細胞内情報伝達機構の解明	安田 和則	スポーツ医学診療科	17,680,000	補委	日本学術振興会
液性因子処理滑膜由来幹細胞投与による腱マトリクス再構築の制御	近藤 英司	スポーツ医学診療科	1,430,000	補委	日本学術振興会
除負荷が In Vivo で誘導する腱線維芽細胞アポトーシスの発見と分子機序の解明	北村 信人	スポーツ医学診療科	1,560,000	補委	日本学術振興会
骨折治癒過程におけるマクロファージ遊走阻止因子の役割とその制御による効果の解明	小野寺 伸	スポーツ医学診療科	1,300,000	補委	日本学術振興会
運動失調症の病態解明と治療法開発に関する研究	佐々木秀直	神経内科	60,000,000	補委	厚生労働省

タンパク質修飾技術等による次世代創薬と光計測技術による個別化医療との融合	佐々木秀直	神経内科	15,326,000	補委	文部科学省
神経変性疾患バイオマーカーの臨床的検証と早期実用化	佐々木秀直	神経内科	2,299,000	補委	科学技術振興機構
希少性難治性疾患患者に関する医療の向上及び患者支援のあり方に関する研究	佐々木秀直	神経内科	700,000	補委	厚生労働省
神経変性疾患に関する調査研究	佐々木秀直	神経内科	2,100,000	補委	厚生労働省
特発性正常圧水頭症の病因・病態と診断・治療に関する研究	佐々木秀直	神経内科	800,000	補委	厚生労働省
多系統萎縮症におけるゲノム網羅的コピー数多型(CNV)の研究	佐々木秀直	神経内科	650,000	補委	日本学術振興会
神経変性疾患の分子遺伝学的研究	矢部一郎	神経内科	1,690,000	補委	日本学術振興会
多発性硬化症における自然免疫システムの解明	廣谷真	神経内科	1,690,000	補委	日本学術振興会
スモンに関する調査研究	矢部一郎	神経内科	600,000	補委	厚生労働省
治験の実施に関する調査研究 [サリドマイド]	矢部一郎	神経内科	1,000,000	補委	厚生労働省
新たな網羅的糖鎖解析グライコプロッティング法によるぶどう膜炎の病態解明	南場研一	眼科	1,560,000	補委	日本学術振興会
糖尿病網膜症の血管新生におけるalphaB-crystallinの役割	加瀬 諭	眼科	1,469,000	補委	日本学術振興会

白血球接着分子VAP-1の眼窩腫瘍における予後予測因子としての検討	野田実香	眼科	1,170,000	補委	日本学術振興会
ゲラニルゲラニルアセトンによる正常眼圧緑内障モデル動物の網膜神経節細胞死抑制	新明康弘	眼科	1,950,000	補委	日本学術振興会
ゲノム解析およびプロテオーム解析による頭頸部癌診断・治療の新展開	福田 諭	耳鼻咽喉科	5,070,000	補委	日本学術振興会
アレルギー性鼻炎根治を指向したSIRT1蛋白研究の新しい展開	中丸 裕爾	耳鼻咽喉科	910,000	補委	日本学術振興会
頭頸部癌シグナル伝達ネットワークの解明	畠山 博充	耳鼻咽喉科	3,120,000	補委	日本学術振興会
中咽頭癌におけるマイクロRNA解析による新規バイオマーカーの探索	水町 貴諭	耳鼻咽喉科	2,080,000	補委	日本学術振興会
頭頸部癌の薬剤耐性獲得におけるミトコンドリアDNA変異に関する研究	鈴木 清護	耳鼻咽喉科	780,000	補委	日本学術振興会
頭頸部癌細胞におけるマイクロRNA活性化機序の解明	加納 里志	耳鼻咽喉科	1,300,000	補委	日本学術振興会
前庭水管拡大症の臨床所見と遺伝子変異解析に基づく新診断基準作成	福田 諭	耳鼻咽喉科	700,000	補委	厚生労働省
急性高度難聴に関する調査研究	福田 諭	耳鼻咽喉科	800,000	補委	厚生労働省
センチネルリンパ節理論による頭頸部癌微小転移の解明と個別的治疗方法の開発	本間 明宏	耳鼻咽喉科	500,000	補委	厚生労働省
頭頸部癌に対する超選択的動注化学療法と照射の同時併用療法の有用性に関する研究	本間 明宏	耳鼻咽喉科	600,000	補委	厚生労働省

Usher症候群に関する調査研究	武市 紀人	耳鼻咽喉科	500,000	補 委	厚生労働省
優性遺伝形式をとる遺伝性難聴に関する調査研究	武市 紀人	耳鼻咽喉科	500,000	補 委	厚生労働省
科学研究費補助金 基盤研究(A) 「ヒト化アクティブモデルマウスによる水疱性類天疱瘡の発症機序解明と新規治療法開発」	清水 宏	皮膚科	6,800,000	補 委	日本学術振興会
厚生労働科学研究費補助金(免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業) 「アトピー性皮膚炎の予防・治療法の開発及び確立に関する研究」	清水 宏	皮膚科	24,300,000	補 委	厚生労働省
厚生労働科学研究費(難治性疾患克服研究事業)「家族性慢性膿皮症に関する調査研究と病因の解明」	清水 宏	皮膚科	6,500,000	補 委	厚生労働省
科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 「ヒト化蛋白表皮水疱症モデルマウスに対する幹細胞療法の開発」	清水 宏	皮膚科	3,000,000	補 委	日本学術振興会
厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業) 「稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究」	清水 宏	皮膚科	4,000,000	補 委	厚生労働省
厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業) 「遺伝学的手法における診断の効果的な実施体制に関する研究」	清水 宏	皮膚科	700,000	補 委	厚生労働省
厚生労働科学研究費補助金(免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業) 「患者末梢血を用いた重症薬疹モデルマウスの作成および発症機序の解明」	阿部理一郎	皮膚科	6,844,000	補 委	厚生労働省
科学研究費補助金基盤研究(A) 「脂質輸送蛋白ABCA12をターゲットとした、魚鱗癬各病型に対する新規治療法の開発」	阿部理一郎	皮膚科	700,000	補 委	日本学術振興会
厚生労働科学研究費(難治性疾患克服研究事業)「道化師様魚鱗癬の治療のための指針の作成と新規治療戦略の開発」	阿部理一郎	皮膚科	500,000	補 委	厚生労働省
科学研究費補助金基盤研究(C) 「乳房外パジェット病におけるハイリスク群の抽出の試み」	青柳 哲	皮膚科	800,000	補 委	日本学術振興会

科学研究費補助金若手研究(A) 「17型コラーゲンの分子イメージングによる水疱性類天疱瘡の病態メカニズムの解明」	西江 渉	皮膚科	3,200,000	補 委	日本学術振興会
科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究「切断部位特異抗体を応用した水疱性類天疱瘡の新規診断ツールの開発」	西江 渉	皮膚科	3,000,000	補 委	日本学術振興会
科学研究費補助金基盤研究(C) 「遺伝性皮膚疾患の責任遺伝子の同定」	有田 賢	皮膚科	800,000	補 委	日本学術振興会
科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金(若手研究(B)) 「水疱性類天疱瘡におけるT細胞サブセットの解析と治療法の開発」	氏家英之	皮膚科	2,100,000	補 委	日本学術振興会
科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金(若手研究(B)) 「アトピー性皮膚炎とフィラグリン遺伝子のサイズ多型の関連の解明」	乃村俊史	皮膚科	2,100,000	補 委	日本学術振興会
科学研究費補助金若手研究(A) 「表皮水疱症に対する細胞療法の開発」	藤田靖幸	皮膚科	13,000,000	補 委	日本学術振興会
科学研究費補助金若手研究(B) 「ヒトVII型コラーゲン含有シルクによる表皮水疱症の治療」	伊藤 圭	皮膚科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
科学研究費補助金基盤研究(C) 「水疱を利用した表皮水疱症の新規遺伝子治療の開発」	大田光仁	皮膚科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
科学研究費補助金研究活動スタート支援「劣性栄養障害型表皮水疱症患者における変異型7型コラーゲンの生理学的機能の解明」	新熊 悟	皮膚科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金(基盤研究(C)) 「補体をターゲットとした水疱性類天疱瘡の新規治療法の開発」	芝木晃彦	皮膚科	2,600,000	補 委	日本学術振興会
科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金(若手研究(B)) 「アトピー性皮膚炎に対する新規治療法の開発」	浜坂明日香	皮膚科	2,300,000	補 委	日本学術振興会
科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金(若手研究(B)) 「重症薬疹における早期診断および重症度予測マーカー検索」	村田純子	皮膚科	1,700,000	補 委	日本学術振興会

ヒト骨髄幹細胞による神経再生療法の包括的戦略研究	黒田 敏	脳神経外科	5,460,000	補委	日本学術振興会
脳梗塞に対する自己骨髄間質細胞移植治療の研究-標準的な移植治療プロトコールの確立	七戸秀夫	脳神経外科	7,800,000	補委	日本学術振興会
ヒト破裂脳動脈瘤の瘤壁性状に応じた流体解析と免疫組織解析による破裂機構の解明	中山若樹	脳神経外科	3,770,000	補委	日本学術振興会
未破裂脳動脈瘤の治療の評価技術の開発に関する研究	宝金 清博	脳神経外科	800,000	補委	厚生労働省
非もやもや病小児閉塞性脳血管障害の実態把握と治療指針に関する研究	宝金 清博	脳神経外科	1,000,000	補委	厚生労働省
ウイルス動脈輪閉塞症の診断・治療に関する研究	宝金 清博	脳神経外科	1,100,000	補委	厚生労働省
フォン・ヒッペルリンドウ病の病態調査と診断治療系確立の研究	宝金 清博	脳神経外科	500,000	補委	厚生労働省
放射線による認知機能障害を回避する転移性脳腫瘍の治療法に関する研究	宝金 清博	脳神経外科	150,000	補委	厚生労働省
機能的MRIと機能的近赤外線スペクトロスコピーを用いた嚥下時の脳活動に関する研究	生駒一憲	リハビリテーション科	4,810,000	補委	日本学術振興会
全国リハビリテーション患者データベースを用いた維持期障害者に対する効果的な社会復帰支援に関する研究	生駒一憲	リハビリテーション科	200,000	補委	厚生労働省
難治性神経因性疼痛に対する大脳一次運動野刺激の多施設共同研究:継続的反复的経頭蓋磁気刺激による効果判定とメカニズム解析	生駒一憲	リハビリテーション科	800,000	補委	厚生労働省
高次脳機能障害者の地域生活支援の推進に関する研究	生駒一憲	リハビリテーション科	1,300,000	補委	厚生労働省

がんのリハビリテーションガイドライン作成のためのシステム構築に関する研究	生駒一憲	リハビリテーション科	1,000,000	補 委	厚生労働省
妊娠初期葉酸と早産の関係	水上 尚典	産科	1,000,000	補 委	厚生労働省
更年期障害に対する加味逍遙散のプラセボ対照二重盲検群間比較試験	櫻木 範明	婦人科	500,000	補 委	厚生労働省
マイクロRNAの発現と上皮性卵巣がんの臨床像との関連に関する研究	金内 優典	婦人科	1,900,000	補 委	日本学術振興会
卵巣癌細胞における抗癌剤耐性機構の解明	渡利 英道	婦人科	900,000	補 委	日本学術振興会
子宮体癌のオーダーメイド治療を目指したリンパ節転移の予測の試み	首藤 聡子	婦人科	1,000,000	補 委	日本学術振興会
卵巣明細胞腺癌に対するテムシロリムスを含む化学療法の有効性及び安全性に関する研究	櫻木 範明	婦人科	1,000,000	補 委	厚生労働省
磁場計測を用いた乳児・小児障害脳における言語機能獲得の予後評価	白石秀明	小児科	1,900,000	補 委	日本学術振興会
傍シロピウス裂症候群の実態調査と診断基準の作成に関する研究	白石秀明	小児科	5,000,000	補 委	厚生労働省
脳形成異常を主とする発達期脳障害の病因・病態と治療に関する研究	白石秀明	小児科	1,000,000	補 委	厚生労働省
出生コホート研究による環境化学物質の次世代影響ならびに環境遺伝交互作用の解明	白石秀明	小児科	100,000	補 委	日本学術振興会
アンジェルマン及びプラダー・ウィリー症候群の中樞神経機能障害の成因に関する研究	白石秀明	小児科	400,000	補 委	日本学術振興会

循環器疾患のマルチモダリティ画像診断統合化データベースを用いた最適診断樹の研究	真鍋徳子	放射線診断科	4,680,000	補 委	日本学術振興会
コイル補助下NBCA塞栓術の確率～血管塞栓術の標準化を目指して～	阿保大介	放射線診断科	4,160,000	補 委	日本学術振興会
未来創薬・医療イノベーション拠点形成	玉木 長良	核医学診療科	108,795,000	補 委	地域産学官連携 科学技術振興事 業費
分子レベルの機能診断と標的治療の実現(V)	玉木 長良	核医学診療科	23,000,000	補 委	株式会社 日立製 作所
RIプローブの開発、実用化 III	玉木 長良	核医学診療科	8,250,000	補 委	日本メジフィジック ス株式会社
次世代型ヒト用半導体PETの脳腫瘍治療戦略への応用	志賀 哲	核医学診療科	1,950,000	補 委	日本学術振興会
腫瘍内低酸素イメージングによる「がん」のプロファイリング	竹井 俊樹	核医学診療科	1,183,000	補 委	日本学術振興会
ポジトロン断層撮像法及びMRIによる簡便かつ生理的な右心室機能計測法の開発	吉永恵一郎	核医学診療科	2,000,000	補 委	ノーステック財団
動脈硬化症の早期診断、治療効果判定のための包括的・生理的心血管機能診断システムの確立	吉永恵一郎	核医学診療科	500,000	補 委	成人血管病研究 振興財団
新しい口臭測定シートの開発	兼平 孝	保存系歯科	780,000	補 委	日本学術振興会
Toll様受容体5を介した歯槽骨代謝機構に関する分子生物学的探索	中村公也	保存系歯科	180,000	補 委	日本学術振興会
垂直歯根破折の破折間隙にセメント質を誘導してレジンと結合させる治療法の開発	菅谷勉	保存系歯科	650,000	補 委	日本学術振興会

組織工学を用いた接着性レジン上に歯周組織再生を伴う垂直破折歯根接着治療法の開発	田中佐織	保存系歯科	1,690,000	補委	日本学術振興会
骨再生用ナノコーティングスキャフォールドを用いた歯周組織再生療法の開発	宮治裕史	保存系歯科	1,560,000	補委	日本学術振興会
培養細胞シートとナノコーティングスキャフォールドによる歯周組織再生	下地伸司	保存系歯科	780,000	補委	日本学術振興会
コラーゲンスキャフォールドにFGF-2を併用した新しい歯周組織再生療法の開発	加藤昭人	保存系歯科	1,560,000	補委	日本学術振興会
硬組織形成を誘導し、直接接合可能な高機能レジンの開発	中塚愛	保存系歯科	780,000	補委	日本学術振興会
接着性ナノハイドロキシアパタイト-コラーゲン複合体膜の開発	天雲太一	保存系歯科	650,000	補委	日本学術振興会
水平性骨欠損部の歯周組織再生量の増大を目的とした成長因子複合移植法の検討	齋藤恵美子	保存系歯科	1,560,000	補委	日本学術振興会
成長因子含有人工骨でデットスペースを補填する新たな抜歯即時インプラント法の開発	小松原 浩実	咬合系歯科	1,800,000	補委	日本学術振興会
骨芽細胞組み込み型人工骨による顎堤再建へのGBR法の応用	大堀 ことは	咬合系歯科	1,500,000	補委	日本学術振興会
インプラント埋入初期におけるオッセointegration獲得を阻害する原因の解明	堀内 留美	咬合系歯科	600,000	補委	日本学術振興会
無歯顎症例における顎堤形態に応じた適切な咬合面形態の最適形状決定法による検討	高山 芳幸	咬合系歯科	500,000	補委	日本学術振興会
歯に対する微小変位の間歇的繰り返し付与は歯を効率よく移動する	佐藤 嘉晃	咬合系歯科	700,000	補委	日本学術振興会

pooled DNAタイピングを用いた顎顔面変形症のゲノムワイド遺伝的関連解析	梶井 貴史	咬合系歯科	1,300,000	補委	日本学術振興会
三次元立体培養歯根膜線維芽細胞を用いた加齢に伴う至適矯正力の解明	金井 壮律	咬合系歯科	4,000,000	補委	日本学術振興会
歯の移動メカニズムの加齢変化—三次元的歯槽骨内微細構造からの検討—	日下部 豊寿	咬合系歯科	4,000,000	補委	日本学術振興会
不正咬合が誘発する情動変化とストレス関連物質—海馬機能と脳腸相関から—	菅原 由紀	咬合系歯科	1,100,000	補委	日本学術振興会
頭蓋顔面形態異常におけるゲノムワイドな遺伝的関連解析	齊藤 文男	咬合系歯科	1,200,000	補委	日本学術振興会
全身麻酔後の悪心・嘔吐に対する術中低血圧の影響	黒住 章弘	口腔系歯科	500,000	補委	日本学術振興会
延髄侵害受容システムの可塑的变化におけるグリア細胞機能の免疫組織化学的検討	詫間 滋	口腔系歯科	2,700,000	補委	日本学術振興会
新しい視点からの局所麻酔薬の薬理作用と有害作用の研究	福島 和昭	口腔系歯科	2,200,000	補委	日本学術振興会
『低酸素領域の分子イメージングに基づいた口腔癌治療戦略』	北川善政	口腔内科	4,100,000	補委	日本学術振興会
『徐神経嚥下筋におけるエネルギー代謝と筋病理学的解析』	北川善政	口腔内科	1,100,000	補委	日本学術振興会
『カーボンナノチューブ被覆によるインプラント材料の骨伝導能の改善』	野谷健一	口腔内科	1,100,000	補委	日本学術振興会
『RNA-タンパク複合体の核外輸送と細胞のがん化との関連』	石川 誠	高次口腔医療センター	900,000	補委	日本学術振興会

『2種類のPET診断を用いたビスホスホネート関連顎骨壊死に対する新たな治療戦略』	山崎 裕	口腔内科	800,000	補委	日本学術振興会
『ヒトパピローマウイルスによって誘導される新しい口腔がん発生機構』	佐藤 明	口腔内科	1,800,000	補委	日本学術振興会
咀嚼筋の分化と痛みに対する交感神経活動の影響』	佐藤 淳	口腔内科	1,200,000	補委	日本学術振興会
『口腔カンジダ症の自然免疫学的発生機序の解明』	秦 浩信	口腔内科	1,800,000	補委	日本学術振興会
『口腔癌に対する放射線化学療法のMethionine-PETによる評価』	阿部貴洋	口腔内科	1,100,000	補委	日本学術振興会
『口腔がんの発症・進展における糖転移酵素GnT-Vの影響とPETによる評価』	小野寺麻記子	口腔内科	1,600,000	補委	日本学術振興会
『口腔がん発生の原因となるARE-mRNA制御機構破綻の機序解明』	黒嶋雄志	口腔内科	1,200,000	補委	日本学術振興会
成人T細胞性白血病(ATL)の根治を目指した細胞療法確立およびそのHTLV-1抑制メカニズムの解明に関する研究	重松明男	検査・輸血部	500,000	補委	厚生労働省
バーチャルスライドシステムを用いたがんの病理診断支援のあり方に関する研究	松野吉宏	病理部	12,500,000	補委	厚生労働省
悪性胸膜中皮腫の診断および治療法の確立とアスベスト曝露の実態に関する研究	松野吉宏	病理部	1,000,000	補委	厚生労働省
病理診断の均てん化と質的向上のための基盤・新規技術開発に関する研究	松野吉宏	病理部	1,400,000	補委	(独) 国立がん研究センター
多施設共同研究の質の向上のための研究体制確立に関する研究	松野吉宏	病理部	800,000	補委	(独) 国立がん研究センター

高感受性悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究	松野吉宏	病理部	1,100,000	補 委	(独) 国立がん研究センター
抗HER2治療抵抗性を示すp95HER2タンパクの測定法の確立と検査実用化の試み	畑中 豊	病理部	1,456,000	補 委	日本学術振興会
消化器癌におけるMesothelinおよびCA125発現の検討	嶋村 剛	臓器移植医療部	1,800,000	補 委	日本学術振興会
北海道地域医療再生計画「臓器提供・移植医療推進活動」	嶋村 剛	臓器移植医療部	26,220,000	補 委	北海道
3テスラMR装置を用いた31P-CSIによる頭頸部悪性腫瘍の治療効果判定	箕輪 和行	高次口腔医療センター	1,830,000	補 委	日本学術振興会
ウェアラブル筋電図測定システムを用いた顎関節症患者の覚醒時ブラキシズムの実態解明	山口 泰彦	高次口腔医療センター	650,000	補 委	日本学術振興会
睡眠時ブラキシズムに対するスプリントの効果は交感神経活動の変化と関連するか?	後藤田 章人	高次口腔医療センター	1,430,000	補 委	日本学術振興会
RNA-タンパク複合体の核外輸送と細胞のがん化との関連	石川 誠	高次口腔医療センター	900,000	補 委	日本学術振興会
言語と顎発育の充足と侵襲低減をめざした口唇口蓋裂治療体系の開発	三古谷 忠	高次口腔医療センター	1,200,000	補 委	日本学術振興会
1ステップ型接着システムの臨床的スミア層溶解能に基づく分類と短・長期的接着性能	井上 哲	口腔総合治療部	600,000	補 委	日本学術振興会

小計10

合計224

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

✓

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Am J Respir Crit Care Med	Annual Change in Pulmonary Function and Clinical Phenotype in Chronic Obstructive Pulmonary Disease	Nishimura Masaharu	第一内科
Lung Cancer	Minichromosome maintenance (MCM) protein 4 as a marker for proliferation and its clinical and clinicopathological significance in non-small cell lung cancer	Kikuchi Junko	第一内科
Clin Exp Allergy	Role of osteopontin, a multifunctional protein, in allergy and asthma	Konno Satoshi	第一内科
Pharmacogenet Genomics	Beta2-adrenergic receptor polymorphisms as a determinant of preferential bronchodilator responses to β 2-agonist and anticholinergic agents in Japanese patients with chronic obstructive pulmonary disease	Konno Satoshi	第一内科
Eur J Nucl Med Mol Imaging	^{18}F -Fluoro-2-deoxyglucose positron emission tomography in cardiac sarcoidosis	Ohira Hiroshi	第一内科
Respiratory Medicine	Comparison of airway remodeling assessed by computed tomography in asthma and COPD	Shimizu Kaoruko	第一内科
J Heart Lung Transplant	Utility of left ventricular systolic torsion derived from 2-dimensional speckle-tracking echocardiography in monitoring acute cellular rejection in heart transplant recipients	Sato Takahiro	第一内科
Lung Cancer	Phase I study of concurrent real-time tumor-tracking thoracic radiation therapy with paclitaxel and carboplatin in locally advanced non-small cell lung cancer	Sakakibara Jun	第一内科
Journal of Biological Chemistry	Acute Down-regulation of Sodium-dependent Phosphate Transporter NPT2a Involves Predominantly the cAMP/PKA Pathway as Revealed by Signaling-selective Parathyroid Hormone Analogs.	永井 聡	第二内科
Current Vascular Pharmacology	Pathophysiology of Thrombosis and Potential Targeted Therapies in Antiphospholipid Syndrome	Olga Amengual	第二内科
Arthritis Res Ther	Aberrant splicing of the hRasGRP4 transcript and decreased levels of this signaling protein in the peripheral blood mononuclear cells in a subset of patients with rheumatoid arthritis.	橋本 陶子	第二内科
Journal of Rheumatology	Hepatitis B virus reactivation by immunosuppressive therapy in patients with autoimmune diseases: risk analysis in Hepatitis B surface antigen-negative cases.	加藤 将	第二内科

Arthritis Rheum	The efficacy of antiphospholipid score for the diagnosis of antiphospholipid syndrome and its predictive value for thrombotic events.	大友 耕太郎	第二内科
Clin Exp Nephrol	Transplantation-associated thrombotic microangiopathy after steroid pulse for polyserositis related to graft-versus-host disease.	石川 康暢	第二内科
Eur J Clin Microbiol Infect Dis.	Clinical impact of cycling administration of antibiotics for febrile neutropenia in Japanese patients with hematological malignancy	橋野 聡	第三内科
Oncology	Phase II study of combined treatment with irinotecan and S-1 (IRIS) in patients with inoperable or recurrent advanced colorectal cancer (HGCSG0302).	Komatsu Y	腫瘍センター
Anticancer Drugs	Randomized phase II trial of first-line treatment with tailored irinotecan and S-1 therapy versus S-1 monotherapy for advanced or recurrent gastric carcinoma (JFMC31-0301).	Komatsu Y	腫瘍センター
J Cardiol	Rationale and design of the Japanese Heart Failure Outpatients Disease Management and Cardiac Evaluation (J-HOMECARE).	Tsuchihashi-Makaya M	循環器内科
Int J Cardiol	Sex differences with respect to clinical characteristics, treatment, and long-term outcomes in patients with heart failure.	Tsuchihashi-Makaya M	循環器内科
Eur Radiol	Identification and further differentiation of subendocardial and transmural myocardial infarction by fast strain-encoded (SENC) magnetic resonance imaging at 3.0 Tesla.	Oyama-Manabe N	循環器内科
Hypertens Res	Nifedipine treatment reduces brain damage after transient focal ischemia, possibly through its antioxidative effects.	Yamato M	循環器内科
J Electrocardio	Swallowing-induced multifocal atrial tachycardia originating from right pulmonary veins.	Yokoshiki H	循環器内科
Hypertens Res	Lower aerobic capacity was associated with abnormal intramuscular energetics in patients with metabolic syndrome.	Yokota T	循環器内科
JACC Cardiovasc Imaging	Effects of surgical ventricular reconstruction and mitral complex reconstruction on cardiac oxidative metabolism and efficiency in nonischemic and ischemic dilated cardiomyopathy.	Sugiki T	循環器内科

Circ J	Predictors of long-term adverse outcomes in elderly patients over 80 years hospitalized with heart failure.	Hamaguchi S	循環器内科
Circ J	Incremental Diagnostic Value of Regional Myocardial Blood Flow Quantification Over Relative Perfusion Imaging With Generator-Produced Rubidium-82 PET.	Yoshinaga K	循環器内科
Circulation	Improved cardiac risk assessment with noninvasive measures of coronary flow reserve.	Murthy VL	循環器内科
Am J Physiol Heart Circ Physiol	Oxidative stress and heart failure.	Tsutsui H	循環器内科
Eur J Echocardiogr	Early diastolic mitral annular velocity at the interventricular septal annulus correctly reflects left ventricular longitudinal myocardial relaxation.	Okada K	循環器内科
Circ J	Novel strain rate index of contractility loss caused by mechanical dyssynchrony. - A predictor of response to cardiac resynchronization therapy-	Iwano H	循環器内科
日本未病システム学会雑誌	わが国男女における年齢別EPA・アラキドン酸比の現況:若年層での低下と動脈硬化性疾患若年発症への懸念	佐久間一郎	循環器内科
Prog Med	オルメサルタン20mgが投与された本態性高血圧症患者におけるアゼルニジピン16mg追加投与の必要状況と併用投与の臨床的有用性に関する検討	佐久間一郎	循環器内科
Int J Cardio	Hyperuricemia predicts adverse outcomes in patients with heart failure.	Hamaguchi S Investigators.	循環器内科
Europace	Randomized trial of angiotensin II-receptor blocker vs. dihydropyridine calcium channel blocker in the treatment of paroxysmal atrial fibrillation with hypertension (J-RHYTHM II Study)	Yamashita T	循環器内科
J Am Coll Cardiol	Quantitative relationship between the extent and morphology of coronary atherosclerotic plaque and downstream myocardial perfusion.	Naya M	循環器内科
AJR Am J Roentgenol	New criteria for the sonographic diagnosis of a plaque ulcer in the extracranial carotid artery.	Muraki M	循環器内科

PLoS One	Type II NKT cells stimulate diet-induced obesity by mediating adipose tissue inflammation, steatohepatitis and insulin resistance.	Satoh M	循環器内科
Med Sci Sports Exerc	Blood flow restriction exercise in sprinters and endurance runners.	Takada S	循環器内科
Am J Physiol Heart Circ Physiol	Angiotensin II-induced reduction in exercise capacity is associated with increased oxidative stress in skeletal muscle.	Inoue N	循環器内科
Mol Cell Biochem	High-fat diet-induced obesity and insulin resistance were ameliorated via enhanced fecal bile acid excretion in tumor necrosis factor-alpha receptor knockout mice.	Yamato M	循環器内科
Int J Hematol	Outcome of medium-dose VP-16/CY/TBI superior to CY/TBI as a conditioning regimen for allogeneic stem cell transplantation in adult patients with acute lymphoblastic leukemia.	重松明男	血液内科
臨床血液	急性白血病に対する強化移植前処置の意義	重松明男	血液内科
無菌生物	造血細胞移植における感染症対策の実態とその対策 同種造血細胞移植時の口内炎対策	杉田純一	血液内科
Bone Marrow Transplant	Efficacy of folinic acid in preventing oral mucositis in allogeneic hematopoietic stem cell transplant patients receiving MTX as prophylaxis.	杉田純一	血液内科
Lung Cancer	Minichromosome maintenance (MCM) protein 4 as a marker for proliferation and its clinical and clinicopathological significance in non-small cell lung cancer.	木下一郎	腫瘍内科
Anticancer Research	Expression of Lgr5, an intestinal stem cell marker, during each stage of colorectal tumorigenesis.	木下一郎	腫瘍内科
Acta Cytologica	Cytological characteristics of pulmonary pleomorphic and giant cell carcinomas.	秋田弘俊	腫瘍内科
Oncology Report	¹⁸ F-fluorothymidine PET/CT as an early predictor of tumor response to treatment with cetuximab in human lung cancer xenografts.	竹内 啓	腫瘍内科

日本臨床外科学会雑誌	劣性栄養障害型表皮水疱症を併存した乳癌に対して全身麻酔下で乳房切除を施行した1例	島田慎吾	第一外科
胆と膵	胆管病変が先行したと考えられる腫瘤形成性自己免疫性膵炎の2例	島田慎吾	第一外科
日本臨床外科学会雑誌	腫瘍破裂にて発症し全身化学療法後に切除した肝芽腫の1例	江本 慎	第一外科
内分泌外科	転移リンパ節の迷走神経浸潤による嘔声で発見された甲状腺オカルト癌の1例	島田慎吾	第一外科
Hernia	Irreducible indirect inguinal hernia containing uterus, ovaries, and Fallopian tubes.	岡田忠雄	第一外科
Cancer Science	First clinical trial of cancer vaccine therapy with artificially synthesized helper/killer-hybrid epitope long peptide of MAGE-A4 cancer antigen.	高橋典彦	第一外科
Hepatol Res	Clinicopathological significance of nuclear factor- κ B activation in hepatocellular carcinoma	横尾英樹	第一外科
World J Gastroenterol	Endoscopic naso-pancreatic drainage for the treatment of pancreatic fistula occurring after LDLT.	長津明久	第一外科
Surgical Science	Elevation of Serum CA-125 in Mucinous Cystadenoma of the Ovary with Torsion: A Rare Occurrence and Review of the Literature	岡田忠雄	第一外科
Surgical Science	Technical Points Regarding New Enterostomy Formation for Incarcerated Stomal Prolapse in Loop Enterostomy	岡田忠雄	第一外科
Ann Oncol	A phase II study of eribulin in Japanese patients with heavily pretreated metastatic breast cancer.	田口 和典	第一外科
Cytopathology	Tissue rinse liquid-based cytology: a feasible tool for the intraoperative pathological evaluation of sentinel lymph nodes in breast cancer patients.	田口 和典	第一外科

内分泌甲状腺外科学会雑誌	著名な高Ca血症を呈し、副甲状腺癌との鑑別を要した巨大副甲状腺腺腫の1例	細田充主	第一外科
日本臨床外科学会雑誌	乳癌と胃癌を合併した多発性筋炎の1例	山本 貢	第一外科
Anticancer Agents Med Chem	Differential expressions of matrix metalloproteinases, a disintegrin and metalloproteinases, and a disintegrin and metalloproteinases with thrombospondin motifs and their endogenous inhibitors among histologic subtypes of lung cancers	樋田泰浩	第二外科
胸部外科	術前臨床データによる小型肺癌に対する縮小手術の適応	樋田泰浩	第二外科
胸部外科	降下性壊死性縦隔炎	加賀基知三	第二外科
J Thorac Cardiovasc Surg	Pulmonary vein thrombosis after video-assisted thoracoscopic left upper lobectomy.	大高和人	第二外科
Arthritis	Patella eversion deteriorates early knee functional recovery after TKA -Comparison between MIS TKA and conventional TKA-	Majima T,	整形外科
J Arthroplasty	Drain-clamping method with diluted tranexamic acid in total knee arthroplasty does not increase the risk of venous thromboembolism.	Onodera T,	整形外科
Sports Med, Arthroscopy, Rehabilitation, Therapy & Technology	Effect of Japanese herbal medicine, Boiogito, on osteoarthritic knee with joint effusion.	Majima T,	整形外科
東日本整形災害外科学会誌	:Xa阻害活性測定による合成Xa阻害剤モニタリングの試み.	小野寺智洋	整形外科
日本股関節学会誌	特発性大腿骨頭壊死症に対する大腿骨内反骨切り術の治療成績と適応	高橋大介	整形外科
日本股関節学会誌	ZTT II cupの中期成績	田辺明彦	整形外科

日本人工関節学会誌	人工膝関節置換術時における上顆軸の術中動態解析 -同一患者におけるmobile bearingとfixed bearingの違い-	笠原靖彦	整形外科
日本人工関節学会誌	正常膝に行ったTKA術前後のキネマティクスの変化 -屍体膝における計測	五十嵐達弥	整形外科
日本人工関節学会誌	セメントレスS-ROM THAの中・長期成績	高橋大介	整形外科
Monthly Book Orthopedics	人工膝関節置換術. コンピュータナビゲーション人工膝関節全置換術	眞島任史	整形外科
北海道整災外	北海道におけるDVT(深部静脈血栓症)予防の現状と課題:人工膝関節置換術におけるDVT対策	眞島任史	整形外科
整形外科	キトサン・ヒアルロン酸ハイブリッド繊維を用いた組織工学的的手法による靭帯再生	眞島任史	整形外科
Am J Sports Med	Long-term stress distribution patterns across the elbow joint in baseball players assessed by computed tomography osteoabsorptiometry.	Momma D	整形外科
Polymers	Chitosan-based hyaluronic acid hybrid polymer fibers as a scaffold biomaterial for cartilage tissue engineering.	Iwasaki N	整形外科
Hand Surg	Clinical outcomes of excision arthroplasty for Kienbock's disease.	Matsubishi T	整形外科
J Hand Surg Am	Computed tomography osteoabsorptiometry alterations in stress distribution patterns through the wrist in after radial shortening osteotomy for Kienböck's disease.	Makabe H	整形外科
Arthroscopy	Arthroscopic assisted repair of avulsed triangular fibricartilage complex to the fovea of the ulnae head: a 2- to 4- year follow-up study-.	Iwasaki N	整形外科
Arthritis Rheum	Alterations of high-mannose type N-glycosylation in human and mouse osteoarthritis cartilage.	Urita A	整形外科

Am J Sports Med	In vivo vascularity alterations in repaired rotator cuffs using contrast-enhanced ultrasound.	Funakoshi T,	整形外科
Am J Sports Med	A retrospective evaluation on magnetic resonance imaging effectiveness on capitellar osteochondritis dissecans among overhead athletes.	Iwasaki N	整形外科
J Hand Surg Eur	Rupture of the flexor digitorum profundus tendon after injections of insoluble steroid for a trigger finger.	Yamada K	整形外科
Microsurgery	Covering the below-knee amputation stump with the pedicled dorsalis pedis flap from the ipsilateral foot: a case report.	Motomiya M	整形外科
Hand Surg.	Prevention of instability of the proximal end of the radius after radial head resection using an anconeus muscle flap.	Nishida K	整形外科
Am J Sports Med	Distribution of bone mineral density at osteochondral donor sites in the patellofemoral joint among baseball players and controls.	Nishida K	整形外科
整形外科	複合性局所疼痛症候群に対するエルカトニンの有用性.	益子竜弥	整形外科
北海道整形災害外科学会雑誌	オステオポンチンと変形性関節症の進行.	松井雄一郎	整形外科
日本臨床スポーツ誌	北海道少年野球指導者の投球障害予防に対する意識調査-10年間の変化-	船越忠直	整形外科
臨床評価	新規人工手関節(NM002)治験	稲毛富士郎	整形外科
肩関節	造影超音波検査による肩腱板断裂治癒過程における血行動態の変化.	船越忠直	整形外科
肩関節	Cuff tear arthropathyにおける軟骨組織のN型糖鎖構造の変化	松橋智弥	整形外科

日本肘関節学会雑誌	関節リウマチ肘に対するCoonrad-Morrey型人工肘関節の治療成績	本宮真	整形外科
日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会誌	超音波を用いた少年野球検診 - 病院受診率向上の工夫 -	船越忠直	整形外科
臨床スポーツ医学	肘関節靭帯の解剖とバイオメカニクス	岩崎倫政	整形外科
整形・災害外科	遠位橈尺関節障害に対するSauve-Kapandji法のポイント	西田欽也	整形外科
MB Orthopaedics	リウマチ手関節変形の治療	本宮真	整形外科
雑誌 肩関節	CTを用いたペグ型glenoid componentのlooseningの評価	門間大輔	整形外科
整形災害外科	オステオポンチンと変形性関節症の進行	松井雄一郎	整形外科
MB Orthopaedics	肘離断性骨軟骨炎に対する骨軟骨柱移植術の有効性と将来展望	岩崎倫政	整形外科
整形外科看護	手関節術後のNGケアとOKケア	松井雄一郎	整形外科
整形外科看護	変形性関節症まるごとガイド 手一手指のOA	本宮真	整形外科
整形・災害外科	手指のリウマチに対する手術治療の現況 関節リウマチ手関節に対する手術療法	岩崎倫政	整形外科
European Spine Journal	A Late Neurological Complication Following Posterior Correction Surgery of Severe Cervical Kyphosis.	Manabu Ito	整形外科

J Orthop Res	Replication of study of the association between adolescent idiopathic scoliosis and two estrogen receptor genes.	Manabu Ito	整形外科
J of Orthopaedic Research	Lack of association between adolescent idiopathic scoliosis and previously reported single nucleotide polymorphisms in MATN1, MTNR1B,TPH1, and IGF1 in a Japanese population.	Manabu Ito	整形外科
J Mater Sci Mater Med	Improved bioabsorbability of synthetic hydroxyapatite through partial dissolution precipitation of its surface.	Manabu Ito	整形外科
J of Neurosurgery	A Novel Cost-effective Computer Assisted Imaging Technology for Accurate Placement of Thoracic Pedicle Screws. Technical Note.	Manabu Ito	整形外科
Eur Spine J	Mid-term clinical results of minimally invasive decompression and posterolateral fusion with percutaneous pedicle screws versus conventional approach for degenerative spondylolisthesis with spinal stenosis.	Kuniyoshi Abumi	整形外科
Nat Gent	A genome-wide association study identifies common variants near LBX1 associated with adolescent idiopathic scoliosis.	Manabu Ito	整形外科
Arthritis Rheum	Caspase 3 as a therapeutic target for regulation of intervertebral disc degeneration.	Hideki Sudo	整形外科
J Neurosurg Spine	A novel cost-effective computer-assisted imaging technology for accurate placement of thoracic pedicle screws.	Manabu Ito	整形外科
Key Engineering Materials	Characterization of bio-absorbable and biomimetic apatite/collagen composite powders derived from fish bone and skin by dissolution-precipitation method.	Manabu Ito	整形外科
Clin Biomech	Corrective force analysis for scoliosis from implant rod deformation.	Manabu Ito	整形外科
J Biomech Eng	A simple method for in vivo measurement of implant rod three-dimensional geometry during scoliosis surgery.	Manabu Ito	整形外科
Eur Spine J	Impact of deep extensor muscle-preserving approach on clinical outcome of laminoplasty for cervical spondylotic myelopathy: comparative cohort study.	Kuniyoshi Abumi	整形外科

Spine J	Cervical angina due to ossification of the posterior longitudinal ligament.	Hideki Sudo	整形外科
Spine J	Spinal cord compression by hematoma in the cervical ligamentum flavum: a case report.	Hideki Sudo	整形外科
Spine J	Post-traumatic lumbar subdural hematoma.	Hideki Sudo	整形外科
J Bone Joint Surg Am	Long-term Outcomes of Anterior Dual Rod Instrumentation for Thoracolumbar and Lumbar Curves in Adolescent Idiopathic Scoliosis: A Twelve to Twenty Three-Year Follow-up Study.	Hideki Sudo	整形外科
Cell Tissue Res	Synthetic scaffold coating with adeno-associated virus encoding BMP2 to promote endogenous bone repair.	Takahata Masahiko	整形外科
J Neurosurg Spine	Outcomes of fusion surgery for ossification of the posterior longitudinal ligament of the thoracic spine: a multicenter retrospective survey.	Kuniyoshi Abumi	整形外科
Stem Cells	Tumor necrosis factor inhibits mesenchymal stem cell differentiation into osteoblasts via the ubiquitin E3 ligase Wwp1.	Takahata Masahiko	整形外科
J Biomed Opt	Raman spectroscopy detects deterioration in biomechanical properties of bone in a glucocorticoid-treated mouse model of rheumatoid arthritis.	Takahata Masahiko	整形外科
J Bone Miner Res	Regulation of human osteoclast development by dendritic cell-specific transmembrane protein (DC-STAMP).	Takahata Masahiko	整形外科
Spine	Reconstruction of the Subaxial Cervical Spine Using Pedicle Screw Instrumentation.	Kuniyoshi Abumi	整形外科
J. Spine Res	肋骨異常を伴う先天性側弯症の自然経過.	伊東 学	整形外科
脊椎脊髄	頸椎部強直性脊椎骨増殖症における嚥下障害の病態とその対処.	伊東 学	整形外科

整形外科	ダブルロッド同時回旋法による特発性側弯症の後方インストゥルメンテーション手術.	伊東 学	整形外科
Bone Joint Nerve	脊椎骨折の治療:外科的立場から.	伊東 学	整形外科
J shoulder Elbow Surg	Midterm outcomes after humeral head replacement with rotator cuff repair in patients with syringomyelia shoulder neuroarthropathy: a report on three cases.	Nagahama Ken	整形外科
J Bone Miner Res	Awad. Delayed Short Course Treatment with Teriparatide (PTH1-34) Improves Femoral Allograft Healing by Enhancing Intramembranous Bone Formation at the Graft-Host Junction.	Takahata Masahiko	整形外科
Eur Spine J	A retrospective study of congenital osseous anomalies at the craniocervical junction treated by occipitocervical plate-rod systems.	Kuniyoshi Abumi	整形外科
Urol Int	Long-Term Survival in a Patient with Node-Positive Adult-Onset Xp11.2 Translocation Renal Cell Carcinoma.	Aoyagi T	泌尿器科
J Endourol	Outcome of regional lymph node dissection in conjunction with laparoscopic nephroureterectomy for urothelial carcinoma of the upper urinary tract.	Abe T	泌尿器科
Int Immunopharmacology	Immunomodulatory effects of eicosapentaenoic acid through induction of regulatory T cells.	Iwami D	泌尿器科
Transplantation	Depletion of Alveolar Macrophages Abrogates Prolongation of Cardiac Allograft Survival Induced by Intratracheal Delivery of Alloantigen.	Iwami D	泌尿器科
J Urol	Effects of ovariectomy and estrogen replacement on the urethral continence reflex during sneezing in rats.	Kitta T	泌尿器科
Urol Oncol	Is Memorial Sloan-Kettering Cancer Center risk classification appropriate for Japanese patients with metastatic renal cell carcinoma in the cytokine era?	Shinohara N	泌尿器科
Br J Cancer	The incidence and the mechanism of sunitinib-induced thyroid atrophy in patients with metastatic renal cell carcinoma.	Shinohara N	泌尿器科

Transpl Immunol	Decrease of blood type antigenicity over the long-term after ABO-incompatible kidney transplantation.	Tanabe T	泌尿器科
Clin Transplant	BK polyomavirus nephropathy complicated with acute T-cell-mediated rejection in a kidney transplant recipient: a case report.	Tanabe T	泌尿器科
PLoS One	Mamld1 knockdown reduces testosterone production and Cyp17a1 expression in mouse Leydig tumor cells.	Nakamura M	泌尿器科
Kidney Int	Direct targeting of fibroblast growth factor-inducible 14 protein protects against renal ischemia reperfusion injury.	Hotta K	泌尿器科
Br J Cancer	Prognostic significance of CD45RO+ memory T cells in renal cell carcinoma.	Hotta K	泌尿器科
Brain Res	Acute administration of AMPA/Kainate blocker combined with delayed transplantation of neural precursors improves lower urinary tract function in spinal injured rats.	Mitsui T	泌尿器科
Plast Reconstr Surg	Microsurgical lymphaticovenous implantation targeting dermal lymphatic backflow using indocyanine green fluorescence lymphography in the treatment of postmastectomy lymphedema	Furukawa H	形成外科
J Plast Surg	Sentinel lymph node biopsy using real-time fluorescence navigation with indocyanine green in cutaneous head and neck / lip mucosa melanomas.	Furukawa H	形成外科
Plast Reconstr Surg	How do the type and location of a vascular malformation influence growth in Klippel-Trénaunay syndrome?	Funayama E	形成外科
J Biomed Biotechnol	In vivo imaging of particle-induced inflammation and osteolysis in the calvariae of NF κ B/luciferase transgenic mice.	Takahashi K	スポーツ医学診療科
Biomed Mater	Effects of increased collagen-matrix density on mechanical properties and in vivo absorbability of hydroxyapatite-collagen composites as artificial bone materials.	Yunoki S	スポーツ医学診療科
BMC Musculoskelet Disord	Spontaneous hyaline cartilage regeneration can be induced in an osteochondral defect created in the femoral condyle using a novel double-network hydrogel.	Yokota M	スポーツ医学診療科

J Biomech	Deficiency of macrophage migration inhibitory factor gene delays healing of the medial collateral ligament: A biomechanical and biological study.	Kitayama S	スポーツ医学診療科
J Mater Sci Mater Med	In vivo effects of isolated implantation of salmon-derived crosslinked atelocollagen sponge into an osteochondral defect.	Kawaguchi Y	スポーツ医学診療科
J Mater Sci Mater Med	Joint immobilization inhibits spontaneous hyaline cartilage regeneration induced by a novel double-network gel implantation.	Arakaki K	スポーツ医学診療科
Am J Sports Med	Local Administration of Autologous Synovium-Derived Cells Improve the Structural Properties of Anterior Cruciate Ligament Autograft Reconstruction in Sheep.	Kondo E	スポーツ医学診療科
Am J Sports Med	Induction of Spontaneous Hyaline Cartilage Regeneration Using a Double-Network Gel: Efficacy of a Novel Therapeutic Strategy for an Articular Cartilage Defect.	Kitamura N	スポーツ医学診療科
Osteoporos Int	Impaired fracture healing in macrophage migration inhibitory factor-deficient mice.	Kobayashi T	スポーツ医学診療科
Am J Sports Med	Biomechanical comparisons between 4-strand and modified Larson 2-strand procedures for reconstruction of the posterolateral corner of the knee	Miyatake S	スポーツ医学診療科
Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc	Comparisons of femoral tunnel enlargement in 169 patients between single-bundle and anatomic double-bundle anterior cruciate ligament reconstructions with hamstring tendon grafts.	Kawaguchi Y	スポーツ医学診療科
Am J Sports Med	Anatomic single- and double-bundle anterior cruciate ligament reconstruction, part 1: basic science.	Yasuda K	スポーツ医学診療科
Am J Sports Med	Gender-based differences in outcome after anatomic double-bundle anterior cruciate ligament reconstruction with hamstring tendon autografts	Tohyama H	スポーツ医学診療科
BMC Musculoskelet Disord	Gene expression profile of the cartilage tissue spontaneously regenerated in vivo by using a novel double-network gel: Comparisons with the normal articular cartilage.	Imabuchi R	スポーツ医学診療科
Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc	Clinical comparison of two suspensory fixation devices for anatomic double-bundle anterior cruciate ligament reconstruction.	Kondo E	スポーツ医学診療科

Am J Sports Med	Biomechanical and Histological Evaluations of the Doubled Semitendinosus Tendon Autograft After Anterior Cruciate Ligament Reconstruction in Sheep	Kondo E	スポーツ医学診療科
Molecular Brain	Copy number loss of (src homology 2 domain containing)-transforming protein 2 (SHC2) gene: discordant loss in monozygotic twins and frequent loss in patients with multiple system atrophy	Sasaki H	神経内科
Neurologist	Adult Leigh disease without failure to thrive	Sakushima K	神経内科
J Neurol	Clinical features of spinal cord sarcoidosis: analysis of 17 neurosarcoidosis patients	Sakushima K	神経内科
J Infect	Diagnostic accuracy of cerebrospinal fluid lactate for differentiating bacterial meningitis from aseptic meningitis: a meta-analysis	Sakushima K	神経内科
J Neuroimaging	Idiopathic hypoglossal nerve laceration detected by high-resolution three-dimensional constructive interference in steady state magnetic resonance imaging	Sakushima K	神経内科
J Neurol Sci	Nationwide survey on the epidemiology of syringomyelia in Japan	Sakushima K	神経内科
J Neurol	Genetic analysis of two Japanese families with progressive external ophthalmoplegia and parkinsonism	Sato K	神経内科
臨床神経学	画像的に多巣性の進展経過を示した大脳膠腫性の1例	佐久嶋研	神経内科
てんかんをめぐって	妊婦検診では妊娠高血圧症候群を欠いた子癇の2例	佐久嶋研	神経内科
神経治療学	Fabry病における酵素補充療法の治療経験	堀内一宏	神経内科
Molecular Vision	Tissue factor expression in human pterygium.	安藤亮	眼科

Ophthalmology	Conjunctival lymphoproliferative disorder.	福原淳一	眼科
Oncology Letters.	Extranodal marginal zone B-cell lymphoma involving superior rectus muscle: A clinicopathological case report.	福原淳一	眼科
Eur J Ophthalmol	Intraocular neovascularization associated with choroidal ganglioneuroma in neurofibromatosis type-1	石嶋漢	眼科
Clin Exp Ophthalmol.	Repair of blowout orbital floor fracture by periosteal suturing.	野田実香	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci	Oscillatory eye movements resembling pendular nystagmus in normal juvenile macaques.	七戸夏子	眼科
Journal of Diabetes Mellitus	Immunolocalization of advanced glycation end products in human diabetic eyes	加瀬諭	眼科
International Journal of Molecular Medicine	Increased expression of alphaA-crystallin in human diabetic eye	加瀬諭	眼科
Arch Ophthalmol	Giant conjunctival mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma.	加瀬諭	眼科
Clin Ophthalmol	Diffuse infiltrating retinoblastoma invading subarachnoid space	加瀬諭	眼科
眼科	抗VEGF療法アップデート-Anti-VEGF therapy update-	石田晋	眼科
Diabetes Frontier	糖尿病網膜症における薬物療法。「特集 糖尿病網膜症診療の最前線」	石田晋	眼科
全身疾患と眼	高血圧・動脈硬化。「5.循環器疾患」. 専門医のための眼科診療クオリファイ	石田晋	眼科

Geriatric Medicine	老年病・生活習慣病としての加齢黄斑変性.「特集 加齢黄斑変性の診断治療の最近の進歩」	石田 晋	眼科
眼科臨床紀要	周辺部硝子体切除の程度により経過が異なると 考えられた両眼悪性緑内障の1例	木下 哲志	眼科
臨床眼科	Coats 病に対するベバシズマブ硝子体内注射を併 用した網膜光凝固.	藤谷 顕雄	眼科
眼科臨床紀要	北海道におけるアcantアメーバ角膜炎18奨励の 検討.	山本 哲平	眼科
臨床眼科	ぶどう膜炎の外科治療.「ぶどう膜炎・強膜炎・感染 症-ぶどう膜炎・強膜炎」	齋藤 航	眼科
臨床眼科	線維柱帯切開術およびその近縁手術の基本手技 とその術後管理.「緑内障-治療」	陳進 輝	眼科
臨床眼科	Behcet 病の診断と治療.「ぶどう膜炎・強膜炎・感 染症-ぶどう膜炎・強膜炎」	南場 研一	眼科
あたらしい眼科	糖尿病網膜症と白血球接着分子.	野田 航介	眼科
臨床眼科	下眼瞼牽引筋腱膜縫着術.「神経, 外眼部, 腫瘍 などの疾患-外眼部疾患」	野田 実香	眼科
J Invest Dermatol	The beta9 Loop Domain of PA-PLA(1)alpha Has a Crucial Role in Autosomal Recessive Woolly Hair/Hypotrichosis.	Shinkuma S	皮膚科
Br J Dermatol	Prolonged elevation of serum granulysin in drug- induced hypersensitivity syndrome.	Saito N	皮膚科
Br J Dermatol	Circumscribed palmar hypokeratosis: correlation between histopathological patterns and dermoscopic findings.	Nishimura M	皮膚科

J Biol Chem	Coiled Coils Ensure the Physiological Ectodomain Shedding of Collagen XVII.	Nishie W	皮膚科
Br J Dermatol	Possible modifier effects of keratin 17 gene mutation on keratitis-ichthyosis-deafness syndrome.	Natsuga K	皮膚科
J Immunol	Antibodies to Pathogenic Epitopes on Type XVII Collagen Cause Skin Fragility in a Complement-Dependent and -Independent Manner.	Natsuga K	皮膚科
Br J Dermatol	Mucous membrane pemphigoid with generalized blisters: IgA and IgG autoantibodies target both laminin-332 and type XVII collagen.	Hayashi I	皮膚科
J Dermatol	Yellow nail syndrome: nail change reflects disease severity.	Hayashi I	皮膚科
Oncology	Sequential Local Injection of Low-Dose Interferon-Beta for Maintenance Therapy in Stage II and III Melanoma: A Single-Institution Matched Case-Control Study.	Aoyagi S	皮膚科
J Am Acad Dermatol	Extremely severe palmoplantar hyperkeratosis in a generalized epidermolytic hyperkeratosis patient with a keratin 1 gene mutation.	Osawa R	皮膚科
Am J Pathol	Dynamic Interactions of Epidermal Collagen XVII with the Extracellular Matrix Laminin 332 as a Major Binding Partner.	Nishie W	皮膚科
J Dermatol Sci	Expression of exon-8-skipped kindlin-1 does not compensate for defects of Kindler syndrome.	Natsuga K	皮膚科
Exp Dermatol	A founder effect of c.1938delC in ITGB4 underlies junctional epidermolysis bullosa and its application for prenatal testing.	Natsuga K	皮膚科
J Am Acad Dermatol	Rapid immunochromatographic test for serum granulysin is useful for the prediction of Stevens-Johnson syndrome and toxic epidermal necrolysis.	Fujita Y	皮膚科
Neurol Res	Morphological and histological changes of glioma cells immediately after 5-aminolevulinic acid mediated photodynamic therapy	Kamoshima Y	脳神経外科

Neurosurg	Near infrared fluorescence labeling allows non-invasive tracking of bone marrow stromal cells transplanted into rat infarct brain.	Sugiyama T	脳神経外科
Ultrason Sonochem	Sonodynamic Therapy using Water-dispersed TiO ₂ -polyethylene Glycol Compound on Glioma Cells: Comparison of Cytotoxic Mechanism with Photodynamic Therapy	Yamaguchi S	脳神経外科
Neurosurg	Therapeutic Impact of Human Bone Marrow Stromal Cells Expanded by Animal Serum-Free Medium for Cerebral Infarct in Rats.	Sugiyama T	脳神経外科
Neurol Med Chir (Tokyo)	Bone Marrow-Derived Endothelial Progenitor Cells Participate in the Initiation of Moyamoya Disease	Sugiyama T	脳神経外科
Neurosurg	Therapeutic Effects of Intra-Arterial Delivery of Bone Marrow Stromal Cells in Traumatic Brain Injury of Rats - In Vivo Cell Tracking Study by Near-Infrared Fluorescence Imaging.	Osanai T	脳神経外科
Neuropathol	Impact of ageing on biological features of bone marrow stromal cells (BMSC) in cell transplantation therapy for CNS disorders: Functional enhancement by granulocyte-colony stimulating factor (G-CSF).	Chiba Y	脳神経外科
Neuropathol	Intracerebral, but not intravenous, transplantation of bone marrow stromal cells enhances functional recovery in rat cerebral infarct: An optical imaging study.	Kawabori M	脳神経外科
Transl. Stroke Res	Validity of Bone Marrow Stromal Cell Expansion by Animal Serum-Free Medium for Cell Transplantation Therapy of Cerebral Infarct in Rats-A Serial MRI Study.	Ito M	脳神経外科
Neurol Res	Morphological and histological changes of glioma cells immediately after 5-aminolevulinic acid mediated photodynamic therapy	Kamoshima Y	脳神経外科
J Stem Cell Regen Med	Autologous bone marrow stromal cell transplantation for central nervous system disorders - Recent progress and perspective for clinical application.	Kuroda S	脳神経外科
Jpn J Rehabil Med	脳卒中患者に対する健側運動野への低頻度反復経頭蓋磁気刺激が両側運動および運動関連領域皮質間連絡に与える影響	竹内直行	リハビリテーション科
Arch Gynecol Obstet	First-trimester folate levels and subsequent risk of abortion and preterm birth among Japanese women with singleton pregnancy	Takashi Yamada	産科

Twin Res Hum Genet	Prospective risk of intrauterine fetal death in monoamniotic twin pregnancies	Mamoru Morikawa	産科
Clin Endocrinol	Effects of cesarean section on serum levels of NT-proBNP	Takashi Yamada	産科
Early Hum Dev	Clinical features of abruptio placentae as a prominent cause of cerebral palsy	Takahiro Yamad	産科
Fetal Diagn Ther	Fetal presentation of long QT syndrome-- Evaluation of prenatal risk factors: a systematic review	Satoshi Ishikawa	産科
In J Gynaecol Obstet	Prevalence of hyperglycemia during pregnancy according to maternal age and pre-pregnancy body mass index in Japan 2007-2009	Mamoru Morikawa	産科
Hypertens Pregn	Plasam aldosterone concentration and plasma renin activity decrease druing the third trimest in women with twin pregnancy	Takahiro Koyama	産科
Hypertens Pregn	Risk factors of eclampsia other than hypertension: pregnancy-induced antithrombin deficiency and extraordinary weight gain	Takashi Yamada	産科
Mol Cancer. 2011;18;10(1):99. [Epub ahead of print]	MicroRNA-194 inhibits epithelial to mesenchymal transition of endometrial cancer cells by targeting oncogene BMI-1.	櫻木 範明	婦人科
Int J Clin Oncol. 2011;16(1):33-8.	Survival and prognosticators of node-positive cervical cancer patients treated with radical hysterectomy and systematic lymphadenectomy.	保坂 昌芳	婦人科
J Surg Oncol. 2011 Nov 7. doi: 10.1002/jso.22136. [Epub ahead of print]	Clinical efficacy of paclitaxel/cisplatin as an adjuvant chemotherapy for patients with cervical cancer who underwent radical hysterectomy and systematic lymphadenectomy.	保坂 昌芳	婦人科
Int J Gynecol Cancer. 2011;21(2): 385-90.	A Retrospective Analysis of Postoperative Complications With or Without Para-aortic Lymphadenectomy in Endometrial Cancer.	金野 陽輔	婦人科
J Gynecol Oncol: 2011;22(1):3-8.	Multivariate survival analysis of the patients with recurrent endometrial cancer.	小田切 哲二	婦人科

Gynecol Oncol. 2011;121(1): 126-30.	A validation study of the new revised FIGO staging system to estimate prognosis for patients with stage IIIC endometrial cancer.	櫻木 範明	婦人科
Gynecol Oncol. 2011;121(2):314-8.	Initial failure site according to primary treatment with or without para-aortic lymphadenectomy in endometrial cancer.	櫻木 範明	婦人科
Gynecol Oncol. 2011;122 (1):55-8.	Incidence of metastasis in circumflex iliac nodes distal to the external iliac nodes in intermediate- and high-risk endometrial cancer.	櫻木 範明	婦人科
Int J Gynecol Cancer. 2011 May 30[Epub ahead of print]	Prognostic significance of clusterin expression in advanced-stage cervical cancer treated with primary radiotherapy.	渡利 英道	婦人科
Pathobiol. 2011; 78(4):220-6.	High prevalence of multiple human papillomavirus types in invasive cervical cancer of Japanese women using a newly-developed HPV-DNA array.	渡利 英道	婦人科
Osteoporosis Japan 19(3):171-4	子宮頸癌における卵巣温存の意義—骨密度における観点から.	小林 範子	婦人科
日本産婦人科内視鏡学会雑誌26(2):560-4	腹腔鏡下子宮内膜症手術時に虫垂切除術を追加施行した19例の検討.	金野 陽輔	婦人科
Epilepsia	Direct correlation between the facial nerve nucleus and hemifacial seizures associated with a gangliocytoma of the floor of the fourth ventricle: A case report.	Yagyu K.	小児科
J Clin Neurophysiol.	Comparison of Three Methods for Localizing Interictal Epileptiform Discharges with Magnetoencephalography.	Shiraishi H	小児科
Brain Dev.	Source localization in magnetoencephalography to identify epileptogenic foci.	Shiraishi H	小児科
Am J Med Genet	A loss-of-function mutation in the SLC9A6 gene causes X-linked mental retardation resembling Angelman syndrome.	Takahashi Y.	小児科
Brain Dev.	Childhood-onset anti-MuSK antibody positive myasthenia gravis demonstrates a distinct clinical course.	Takahashi Y.	小児科

J Hepatobiliary Pancreat Sci.	Shirato H. Feasibility of a dual microcatheter-dual interlocking detachable coil technique in preoperative embolization in preparation for distal pancreatectomy with en bloc celiac axis resection for locally advanced pancreatic body cancer.	阿保大介	放射線診断科
Ann Nucl Med	Semiquantitative analysis of C-11 methionine PET may distinguish brain tumor recurrence from radiation necrosis even in small lesions	Okamoto S	核医学診療科
Ann Nucl Med	FDG-PET for the diagnosis of unknown origin: a Japanese multi-center study	Kubota K	核医学診療科
Circulation J	Incremental diagnostic value of regional myocardial blood flow quantification over relative perfusion imaging with generator-produced rubidium-82 PET	Yoshinaga K	核医学診療科
IEEE Trans Nucl Sci	Development of a 3D brain PET scanner using CdTe semiconductor detectors and its first clinical application	Morimoto Y	核医学診療科
Eur J Nucl Med Mol Imaging	¹⁸ F-Fluoromisonidazole positron emission tomography may differentiate glioblastoma multiforme from less malignant gliomas	Hirata K	核医学診療科
Biomedical Research	Toll like receptor 5 ligand induces monocyte chemoattractant protein-1 in mouse osteoblastic cells	kimiya Nakamura	保存系歯科
Dent Mater J	Healing of experimental apical periodontitis after apicoectomy using different sealing materials on the resected root end.	大谷香織	保存系歯科
J Periodontol	Attachment formation after transplantation of teeth cultured with enamel matrix derivative in dogs.	齋藤恵美子	保存系歯科
J Oral Tissue Engin	Influence of root surface conditioning with bone morphogenetic protein-2 on periodontal wound healing in beagle dogs.	宮治裕史	保存系歯科
Dent Mater J	Influence of blood contamination before or after surface treatment on adhesion of 4-META/MMA-TBB resin to root dentin.	竹生寛恵	保存系歯科
北海道誌	炭酸カルシウムが4-META/MMA-TBBレジン上への骨形成に与える影響	逸見優	保存系歯科

北海道誌	根管充填法の違いが根尖孔の大きい根管の封鎖性に及ぼす影響	三上大輔	保存系歯科
Interface Oral Health Science 2011	Regulation of osteoblastic differentiation by ubiquitin-proteasome pathway.	鶴山真紀	保存系歯科
J Prosthodont Res	Examination of lower facial skin movements during left- and right-side chewing.	坂口究	咬合系歯科
Nano Biomedicine 3(1)	Optical and Mechanical Properties of Poly(methyl methacrylate) / Montmorillonite Nanocomposites	Shuichi YAMAGATA	咬合系歯科
北海道歯学雑誌 32(1)	歯科矯正学臨床基礎実習に対するルーブリックの導入試行	佐藤 嘉晃	咬合系歯科
北海道歯学雑誌 32(1)	歯科矯正学臨床基礎実習におけるルーブリックと振り返りに関するアンケート調査	佐藤 嘉晃	咬合系歯科
日本臨床矯正歯科医会雑誌 23(1)	矯正治療後の後戻りと保定—口腔周囲軟組織からの歯に加わる力の観点から考える—	飯田 順一郎	咬合系歯科
北海道矯正歯科学会誌 37(1)	社会の中での矯正歯科医療	飯田 順一郎	咬合系歯科
ORTHODONTICS & CRANIOFACIAL RESEARCH 2011;14	Morphological evaluation of cranial and maxillary shape differences of the brachymorphic mouse with spontaneous malocclusion using three-dimensional micro-computed tomography	F Saito	咬合系歯科
J Oral Sci	An investigation of accidental ingestion during dental procedures	小日向 謙一	口腔系歯科
Oncology Letters	Phenotype of tumor lymphatic vessels is a prognostic factor in human tongue squamous cell carcinoma	新田 幸絵	口腔系歯科
Asian Journal of Oral and Maxillofacial Surgery	Successful total mandibular reconstruction using a fibular graft with long-term follow-up: A case report	阿部貴洋	口腔系歯科

日本口腔粘膜学会雑誌	義歯に定着したカンジダ菌種の評価—オゾン水を用いた義歯洗浄効果—	山崎 裕	口腔系歯科
北海道歯学雑誌	在宅自立高齢者における口腔カンジダ菌の保菌状態に関する調査	後藤 隼	口腔系歯科
日本口腔外科学会雑誌	経口ビスフォスフォネート製剤服用患者の抜歯後治癒経過に関する後ろ向き調査研究	山崎 裕	口腔系歯科
INTERNATIONAL JOURNAL OF MOLECULAR MEDICINE	Effects of bisphosphonates on osteoclastogenesis in RAW264.7 cells	阿部圭吾	口腔系歯科
Am. J. Surg. Pathol.	Expression of proteasome subunit $\beta 5t$ in thymic epithelial tumors.	Yamada	病理部
病理と臨床	分子病理診断の標準化と精度管理	畑中豊	病理部
病理と臨床(増刊号)	病理診断に役立つ分子生物学:Ki-67・細胞増殖マーカー・解説編/診断編	畑中豊	病理部
病理と臨床	バーチャルスライドシステムを用いた病理診断支援	飯嶋達生	病理部
病理と臨床	日常診断上おさえておきたい腫瘍 線維腫症の診断のポイント	三橋智子	病理部
病理と臨床	膵管内腫瘍の概念 新WHO分類を踏まえて	三橋智子	病理部
Medical Technology	分子標的治療と臨床検査:大腸癌	畑中豊	病理部
J Prosthodont Res	Day-to-day variations in salivary cortisol measurements.	Matsuda S(松田 慎平)	高次口腔医療センター

日本口蓋裂学会雑誌	北海道大学病院高次口腔医療センターにおける 口唇裂・口蓋裂患者の臨床統計的調査	三古谷 忠	高次口腔医療セン ター
Journal of Adhesive Dentistry	Hydrolytic Stability of one-step self-etching adhesives bonded to dentin	井上 哲	口腔総合治療部
医薬品情報学	汎用データベースソフトを用いた持参薬識別シス テムの構築と有用性の検討	川岸亨	薬剤部
日本薬理学雑誌	ドーピング防止 薬剤師がそなえる薬理学的知識	笠師久美子	薬剤部

小計4

合計292

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 福田 諭
管理担当者氏名	総務課長 竹見 吉弘 医事課長 大道 元 薬剤部長 井関 健

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		各診療科 診療録管理室 総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・病歴資料については、診療科毎に作成、保管管理（一診療科一診療録） ・処方せんについては、薬剤部において保管管理 ・エックス線写真については、各診療科において保管管理 なお、平成12年10月1日以降退院する患者に係る入院診療録（看護記録、サマリーを含む）及び外来診療録の一部は、診療録管理室にて保管管理。 ・病院日誌は総務課にて保管管理。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
入院患者、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課及び薬剤部		
第規一則号第一に掲げる十の体制第一の項各号及び第九	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	

条の二十三第一項	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	総務課
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の	院内感染のための指針の策定状況	総務課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	総務課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	総務課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	総務課
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	総務課
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	総務課
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	総務課
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	総務課
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	総務課	

	状況 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	総務課
--	---	-----

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 福田 諭
閲覧担当者氏名	総務課長 竹見 吉弘
閲覧の求めに応じる場所	会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	70.68 %	算定期間	平成23年 4月 1日～平成24年 3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	14,545人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	10,729人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	688人	
	D: 初診の患者の数	26,003人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1・1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
<p>・指針の主な内容：</p> <p>I. 緊急連絡先・フローチャート</p> <ul style="list-style-type: none">・ 医療事故等緊急時・重大事例発生時の連絡網・ 困った時の連絡先・ 医療安全に関する報告・対応体制 フローチャート・ 医療安全に関する報告後の事実調査に関するフローチャート・ R C A 分析事例の対応フロー・ 他院での医療事故等事案の対応・ 当院でのガーゼ遺残疑いが判明した事案の対応フロー <p>II. 基本方針・体制</p> <ul style="list-style-type: none">・ 医療安全管理に対する基本方針・ 医療安全管理体制 <p>III. 共通マニュアル</p> <ul style="list-style-type: none">・ 医薬品安全使用に関する手順・ 診療上の基本項目・ インフォームド・コンセント・ 診療行為に関する項目・ 医療機器管理・医療材料管理・ その他の項目・ 肺血栓塞栓症/深部静脈血栓症（静脈血栓塞栓症）予防ガイドライン・ 肺血栓塞栓症治療ガイドライン・ 共用血管用エコー運用マニュアル	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
<p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 医療事故等防止対策の検討及び推進に関すること。(2) 医療事故等の対応及び原因究明に関すること。(3) 医事紛争の対応等に関すること。(4) 医療事故等の情報収集及び分析に関すること。(5) 医療事故等防止に関する職員の教育・研修に関すること。(6) その他医療事故等に関すること。	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年9回
<p>・研修の主な内容：</p> <p>専門領域に関する講習「インスリン療法講演会」</p> <p>医療安全に関する講演会「2010年度のインシデントを振り返って」×2回</p> <p>医療安全に関する講演会「院内感染をめぐる医療訴訟～感染管理に関する記録の重要性～」</p> <p>採血・穿刺時の神経損傷に関する講習会「採血・穿刺時の神経損傷」</p> <p>採血・穿刺時の神経損傷に関する講習会「注射針による神経損傷」</p> <p>暴言暴力対応講演会「患者はなぜ怒る」</p> <p>医薬品に関する講習会「インシデントからの学び」</p> <p>医療安全の日講演会「医療事故を紛争化させないために～医療紛争・医療裁判の実態と課題」</p>	

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有)
 - ・ その他の改善のための方策の主な内容：
1. 報告書に伴う問題点の把握方法(各部署、安全管理部門の問題点の認識)

インシデント報告に関する分析からフィードバックまでの対応(職員への周知と再発防止)

 - 1) 専任リスクマネジャー(GRM)が当該リスクマネジャー(RM)へ事実確認を行い、報告内容の監査・分析を行い、問題事例や有害事象の場合は、当該RMとの検討、患者の影響度、患者への対応状況などを協議し対応している。
 - 2) レベル3bの有害事象の場合は、当該部署のRMに当該部署として検討を行った結果と再発防止策について事例報告書として詳細報告を要請し、事例報告書に基づき原因・起因を分析し、病院長に報告している。
 - 3) レベル4、5の有害事象は、GRMが聞き取り・現場検証などの事実調査を行い、当該RM・関係者との事象の検討、患者の影響度、患者への対応などを協議している。GRMが作成した検証資料に基づき、病院長・医療安全管理部長・当該部署の責任者とRMにより原因検討を行い、重篤な事象の場合は医療事故対策特別会で原因検討の上、病院の見解を明確にしている。
 2. 問題点の分析方法(各部署、安全管理部門の問題点の分析方法)
 - 1) 3a以上で、過失により発生し下事案や重大事故の可能性のある事案に関してはRCA分析チームを編成し、RCA分析を行い原因分析・再発防止策を作成し、再発防止策について定期的に評価を実施している。
 - 2) 医療事故等調査・分析専門委員会において、3a以上の報告については月ごとにレベル・過誤の判定と合併症の妥当性の検討を行っている。
 - 3) レベル3b以上の報告は、毎週月曜日に、報告内容を分析し、原因と患者への影響度を検討し、医療事故報告制度への報告対象事例の判定を行っている。
 3. 改善策の検討方法
 - 1) 報告の全体的分析は毎月と年間において実施し、発生レベル・報告状況・場面別に集計し、発生場面別や職種別の発生状況について定量的分析を行い「医療安全に関する報告集計」を作成し、各委員会に周知を図っている。また、病院運営会議においても報告し、周知を図っている。
 - 2) 各診療科・部署の安全管理を図るために、前年度の当該診療科・部署での報告について年間集計し、当該診療科・部署での優先的課題を分析し、年度前半で、診療科・部署RM等で対策を検討し、年度末に再度、今年度の当該診療科・部署での報告について集計し、優先的課題の評価を実施し、次年度に向けて継続事項を検討している。
 - 3) 医薬品・医療機器に関する事象については、関係専門委員会で再発防止策を検討し、システム改善・教育体制などの企画を検討している。

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有(4名)
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(3名)
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任(6)名 兼任(18)名 ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> (1) 医療事故及びインシデント報告書等の受理及び分析に関すること (2) リスクマネジメント委員会の運営及びリスクマネジャー連絡会議の運営に関すること (3) 医療安全に関する教育及び研修に関すること (4) リスクマネジャー及び関係部署との連絡調整に関すること (5) 患者相談窓口との連携 (6) その他医療安全に関すること 	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>当院の北海道大学院内感染指針は以下の項目から成っている。</p> <ol style="list-style-type: none">1 院内感染対策に関する基本的な考え方2 院内感染対策に関する管理組織機構<ol style="list-style-type: none">(1) 院内感染対策委員会(2) 院内感染対策特別部会(3) 感染制御部(4) 感染防止対策チーム(5) 感染対策マネージャー連絡会議3 職員研修に関する基本方針4 感染症の発生状況の報告に関する基本方針5 アウトブレイクあるいは異常発生時の対応に関する基本方針6 患者等への情報提供と説明に関する基本方針7 その他院内感染対策の推進のための基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">・ 院内感染防止対策の検討及び推進・ 院内感染防止の対応及び原因究明・ 院内感染等の情報収集及び分析・ 院内感染防止等に関する職員の教育・研修	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年31回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">・ 院内感染対策講演会「本院における院内感染対策」・ 新規感染対策マネージャー講習会「感染対策マネージャーの役割」, 「感染防止の基礎」・ 研修医院内感染対策研修「感染防御具の脱着方法」・ 専門領域研修会感染管理「スタンダードプリコーション」 「感染経路別予防策」・ 清掃外注職員研修「感染管理に基づいた病室清掃手順」	

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- ・病院における発生状況の報告等の整備 (有)
- ・「感染症のアウトブレイク発生に伴う保健所への報告基準」を制定し、保健所や大学内の報告に係る基準及び方法等について整備済みである。(平成23年6月17日医政指発第1号に基づき、平成23年8月25日病院執行会議において承認)
- ・その他の改善のための方策の主な内容：
 - ・感染防止対策チームを設置して、院内感染状況、抗菌薬の適正使用、職員の感染防止策等の実施状況の把握と指導を行っている。
 - ・耐性菌サーベイランス等、感染症法に基づく院内感染症発生状況の迅速な把握と対応を行っている。
 - ・平成24年4月から、感染制御部専任の医師(医員)1名を新たに配置した。
 - ・感染制御部専任の事務補佐員(非常勤職員)1名を継続して配置し、平成24年7月から、事務職員(常勤職員)1名を配置した。
 - ・現在、感染対策マニュアルの改訂作業を行っている。

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年4回
・研修の主な内容： (H23年度) 医薬品に関する講習会「危険薬の取扱い」(看護職対象) 2回 医薬品に関する講習会(全職種対象) 1回 インスリン療法安全管理講習会 1回	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・手順書の作成 (有) ・業務の主な内容： 医薬品安全使用に関する手順書 1) 医療安全上、注意を要する薬剤リスト (1) 特に安全管理が必要なリスト (2) 配合注意・投与ルートで注意を要する注射薬 (3) 誤認に注意薬剤 2) 指示・伝達ルール (1) 指示・伝達ルール (2) 口頭指示は原則禁止 3) 内服薬に関する管理基準 (1) 内服薬管理基準 (2) 薬剤管理指導業務手順書 (3) 入院患者の持参薬確認業務手順書 (4) 誤調剤に対する調剤室対応手順 4) 注射薬に関する管理基準 (1) 注射業務管理基準 (2) 注射薬混合調製(ミキシング)手順書 5) 危険性の高い薬剤・抗がん剤に関する手順書 (1) 危険性の高い薬剤の取扱い手順書 (2) 抗がん剤の投与に関する手順書 (3) 注射用抗生物質製剤等によるショック等に対する安全対策について (4) 抗凝固・抗血小板療法施行時における出血性合併症および処置・手術時の対応 (5) 抗がん剤被曝防止に関するマニュアル (6) ビグアナイド系糖尿病薬服用中のヨード造影剤使用の検査について 6) 医療安全情報管理 (1) 医療安全性情報管理体制 (2) 薬剤部における医薬品情報管理手順 7) 医薬品管理 (1) 病棟における注射剤管理業務手順書 (2) 病棟における薬剤師業務基準 (3) 麻薬管理取扱い手順 8) インスリン療法マニュアル (1) インスリン療法マニュアル (2) インスリンマップ	

④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有)

・ その他の改善のための方策の主な内容：

- ・ 医薬品の情報管理体制として、医療安全性情報管理体制を整備し、薬剤部における医薬品情報管理手順を作成し、それに基づき、日本医療機能評価機構からの医療安全情報は「医療安全情報」として、医薬品医療機器総合機構 (PMDA) からの医療安全情報は「PMDA医療安全情報」「緊急安全性情報」「PMDAから医薬品適正使用のお願い」としてメールにより診療科・部門に提供している。また、関係機関からの医薬品に関する情報、新聞報道からの事故情報などは「緊急情報提供と点検のお願い」にて情報提供とともに現場での業務点検を依頼している。
- ・ 医薬品に関するインシデント集計・分析結果により、専門委員会やワーキング等で医薬品に関するインシデント防止対策や講習会内容の検討を行っている。

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年26回
・研修の主な内容：(H23年度) 人工呼吸器安全管理講習会(基礎課程3回を2クール・認定課程1回) 医療機器に関する研修「輸液・シリンジポンプ編」2回 共用血管用エコー講習会 1回 人工心肺・補助循環 2回、人工呼吸器6回、血液浄化 2回、除細動器2回、 閉鎖式保育器 2回、 新規導入研修：血液浄化ACHΣ 1回 閉鎖式保育器 Incu-i 1回	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・計画の策定 (有) ・保守点検の主な内容： 医療機器管理システムを使用し、使用している医療機器の種類毎に保守点検計画の策定、 実施、及び、実施の確認をしている。 【中央管理機器】 ME機器管理センターで、日常点検・稼働後の点検、3ヶ月等の定期点検、年点検の実施 不具合発生時の現場調査と故障点検の実施。 故障時のメンテナンスとメーカーとの調整。 【放射線部管理機器】 放射線診療従事者より、①始業点検、②2回/月以上の出力線量測定、③3ヶ月及び6ヶ月 毎に放射線及び幾何学的点検、④漏洩線量等の放射線管理に関する測定を実施している。 他に製造メーカーと保守契約を結び年間3回の定期メンテナンスを実施している。 【診療科・部門管理機器】 医療機器管理システムを使用して、管理課で保守点検計画により機器のリストを作成し、 機器の保守点検を実施予定	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・医療機器に係る情報の収集の整備 (有) ・その他の改善のための方策の主な内容： 医療機器の情報管理体制として、医療安全性情報管理体制を整備。 それに基づき、日本医療機能評価機構からの医療安全情報は「医療安全情報」としてメール で診療科・部門に提供。 関係機関やメーカーからの医療機器に関する情報、新聞報道からの事故情報などは「緊急情 報提供と点検のお願い」にて情報提供とともに現場での業務点検を依頼。 また、ME機器管理センターからメールにて医療機器情報を現場へ提供。 医療機器を管理するための北海道大学病院の医療機器管理体制を明文化し、「医療機器安全 管理担当者」の組織と活動を準備。 人工呼吸器稼働状況・医療機器に関する実態調査により、機器の更新に関して管理課と調整 し、医療機器の集中管理を進め、医療機器安全管理体制専門委員会にて方策を検討。 医療機器に関するインシデントの分析結果を基にeラーニングシステムを構築した。	